



仁淀病院からのお知らせ



「作業療法って知っていますか??」

作業療法士 田村 更加

作業療法は病気やケガ、加齢による機能の低下などにより、生活しづらさを持つすべての人を対象とします。『作業』を通して治療や指導・援助を行い、その人が自分らしく、いきいきと家庭や地域で暮らしていけるよう関わります。

『作業』とは、日常生活の様々な動作（起きる・座る・歩く・食事・トイレ・お風呂など）や仕事、遊び、公共機関や社会資源の利用など、日常の中でその人にとって意味のある活動のすべてを指します。生きていくために必要な活動すべてが作業療法の対象です。

作業療法では、まずその人が人間らしく生活していくために何が必要か、どんな能力が必要か考えます。その能力を得るために有効な作業種目を選び治療・訓練を行います。

心や体のこと、好きなもの、生活背景も参考にし、意欲の引き出しやすい、生活に繋がる関わりをできるように考えています。



身体機能を高める訓練



日常生活を送るための訓練



作業を通しての訓練



作業を通しての訓練



障害が残ってしまった場合には、体や生活環境を考慮して、残された能力をいかし生活できるよう関わります。例えば、動き方や方法の検討、道具の工夫や製作、福祉用具の検討や選択、必要に応じて住宅改造の相談や指導も行います。

誰も障害を持てば、精神的に不安定になります。周りの家族も同じです。対象となる本人や家族の相談にのり、生活に意欲が持てるよう心理的なサポートを行うことも作業療法士の役割です。

町立の機関では、仁淀病院、訪問看護ステーション、仁淀清流苑にそれぞれ1名の作業療法士が在籍しています。入院・入所から在宅まで、対象者本人と家族や関わる方々の体と心のサポートを行いながら、よりよい生活を共に考え関わっています。